（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフMINOKAMO			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日	～	2025年9月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	9
○従業者評価実施期間	2025年9月1日	～	2025年9月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育や年齢・発達段階に合わせた小集団療育を基本とし、保護者からのニーズに合わせた支援を行っています。	個別療育では、それぞれのスタッフが専門とする分野からその子のニーズをアプローチしています。また、小集団療育では、他者との関わりの中でコミュニケーション能力の向上、ルール守ろうとする力を育むことができるように支援していきます。	学校・保育園等の関係機関や相談支援員と細めに情報交換をし、統一された支援ができるようにしていきます。
2	言語聴覚士、心理士、保育士、教員免許等の有資格者が多く勤務しており、異年齢や多国籍、異なったニーズの児童の療育を提供しております。	定期的にケース会議を行うことによって、各分野の視点から利用児の様子や課題点を共有し、多角的・多面的なアプローチを提供しています。	スタッフの専門性を高めるために、研修や会議の情報を共有したり、積極的に参加することができるような雰囲気づくりを心がけていきます。
3	定期的にイベントやお出かけを企画し、利用児にとって多種多様な経験を積むことができるようにしています。支援の様子を見たり、利用児についての相談したりすることができるよう保護者様も参加できるイベントを開催しています。	土曜日や祝日を活用して、公共施設やクッキングのイベントを開催し、様々な経験ができる機会の確保をしています。利用児と保護者が、お互いに協力し合うイベントも実施しています。	日常の子育ての困り事や疑問を解消するためにペアレントトレーニングや相談の場を提供をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別の療育を主にに提供しているが、同時間帯の人数によって、集中できる環境の確保ができない場合もあります。	利用時間区分が重なることにより同時間帯に利用児が一気に集まりやすい原因として挙げられます。また、建物の構造的に、個室及び半個室の設置が難しく、集中できる環境の確保ができない時間帯あります。	利用時間区分が重ならないように、来年度に向けて新たな時間区分への変更ができるか検討していきます。利用児の数を分散し、集中できる環境を確保できるように改善していきます。
2	スタッフ同士の通訳や書類の翻訳が必要な為、通訳・翻訳のできるスタッフの負担が大きく、時間を費やしています。	事業所運営で必要とする書類が多いことや、通訳を必要とする機会が頻繁にあることが考えられます。	可能な限り全スタッフで事務作業はを行うことで、翻訳する時間の確保をしていきます。また、朝礼や会議での通訳業務はAIを使うことによって、通訳者の負担を減らしていきます。
3	支援道具や書類、イベント用品の収納が難しく、施設内の整理整頓ができていないことがあります。	物が多く、収納する場所がなかったり、片付けをする時間の確保ができなかったりしていることが要因と考えられます。使用しない、おもちゃや支援道具があります。	倉庫を設置することによって、季節の物や使用頻度の少ない物の収納をし、事務所のものを片付けていきます。使用しない物は寄付や再利用ができないか検討していきます。整理整頓では、退勤前に片付けの時間を確保していきます。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ MINOKAMO

公表日　2025年12月1日

利用児童数　16　　回収数　9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		個々の特性や障がいの重度を考慮しながら部屋の振り分けを考えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1		利用児や送迎の数、支援プログラムを前提に職員の数を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		個室や半個室の支援部屋には、画像等を活用してわかりやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		整理整頓への意識を高め、より心地よく過ごせるようにしていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		各児童のニーズの合わせた支援にできるように、各職員の専門分野の観点から情報の共有ができる場の確保を定期的に設けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	8	1	0	0		各児童の特性や課題、保護者様のニーズに合わせた個別な対応を行っていくために、職員間の情報共有を定期的に行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	1	わかりません	保護者やスタッフモニタリングを行ったうえで個別支援計画を行っております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		利用者様やご家族様のニーズに合わせてより具体的かつ分かりやすく設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		支援に沿った支援ができるように、個別支援計画書の更新の都度、その共有はされています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0		毎回同じスタッフにならないように、個別療育では担当制を採用されています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	0		今後も児童館等へお出かけをする機会を計画していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		契約時やその都度、ご不明な点及びご心配な点ありましたら、丁寧に説明するように心がけています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		保護者様にわかりやすいように、必要に応じて通訳を介して説明をしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	1		保護者様やご家族様も参加できるイベントを定期的に行っております。今後は、ペアレントトレーニングの開催も検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		提供実績記録表へサインをいただく際、こどもの様子、発達状況、ニーズ等の情報共有を行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		今後電話やSNSを活用しつつ、必要に応じて個別面談ができる機会の確保に努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	とても	お言葉ありがとうございます。今後も保護者様のニーズに合わせた療育を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	1	2		保護者会やきょうだい同士が交流する機会をまだ設けたことないので、今後そのような企画をしていきたいです。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	0		相談は個別で迅速かつ適切に対応できるように心がけています。また今後は、SNSやモニタリングの際、そのようなサービスがあることを周知し、より多くの方の相談に努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		誤解や誤認識をさけ、適切に情報を伝達するために多言語のできるスタッフの配置をしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	2		InstagramやFacebookなどのSNSを活用して、ワンライフMINOKAMOの様子を配信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		書類の保管や移動には十分注意を払って、個人情報の取り扱いに留意をしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	0	2		マニュアルは、策定しているが保護者様全員に周知していないため、その周知方法を検討していきます。また、誰でも読めるように多言語のマニュアルも考えております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	0	2		訓練は定期的に行っていて、SNS（Instagram等）でその様子を載せております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9	0	0	0		保護者様全員に周知していない現状なので、その周知方法を検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	2		迅速に保護者に連絡をし、帰宅時にその詳しい状況や実態を説明しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		安心感を持って通える事業所にするために、信頼感や日々のコミュニケーションを大切にしております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		楽しみになる場所として思ってもらえるように、その子に寄り添うような支援やプログラムを考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		利用者様やそのご家族様にご期待に添えるようにこれからも努めてまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ワンライフ MINOKAMO

公表日　2025年12月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3		・よりよい支援の為に、部屋の数を増やした方がよい。 ・時間帯によって、広い空間が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2		・多くの児童が重なった時間帯では難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		・車いす利用児では難しい(できない)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		・集団活動において適切だが、よりよい活用の為に、部屋の数を増やした方がよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	・パーテーションにより半個室の空間ができた。	・部屋の数が少ない。 ・部屋を区分けして、個別を作った。必要に応じて使用されている。 ・個別支援するために、部屋が足りない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・週に一回、子供の様子を共有されています。	・PDCAサイクルが何なのか分かりません
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・保護者とモニタリングをします。	・保護者にアンケートを送るか分かりません。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・意見による	・たまに、意見(改善策)を実行できないことがある。また、その理由が教えられないことがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・分かりません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・支援法の向上に繋がるような機会がある。	・機会はあるが参加費の負担が私費のため苦しい時もある。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・すべての事業所のスタッフに共有される	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	・それぞれのスタッフが具体的なツールで支援を行われていると信じている。 ・標準化されていません。各スタッフのやり方によって行われている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・支援が集団で行われる時 ・各スタッフがそれぞれの専門に応じて支援を行われている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・できる限り ・前までは、工作に傾ける傾向にあった。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・できる限り	・計画は立てられるが、必ずしも毎回計画通りに進まない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・会議は支援後に行われる、土曜日では、具体的な事例についてのケース会議がある。 ・朝礼の時間を活用して共有している。 ・事前に支援する児童の振り分けをする。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	5	・日々の支援後はしないが、週一子供達について会議をする機会がある。	・時間がない時には、まとめて共有する時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・備考欄に記入の為細かな記録はとれていません。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	2		・分かりません ・4つの基本活動が分かりません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		・日本語のわかるスタッフのみが参加ができる。 ・分かりません
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・分かりません
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・そう信じている	・分かりません
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・たまに、具体的な場合において ・カナリアに行っています。	・分かりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・保護者には情報の提供をする ・卒業生はいないが対応したいと考えている。	・分かりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	3		・分かりません
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・分かりません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		・分かりません
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・口頭にて保護者に情報共有される	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	・他の事業所では行われている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		・分かりません
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・分かりません
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・分かりません
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		・BCP実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・薬ははい	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		・分かりません
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		・定期的に
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・個別に記載あり。	・分かりません ・その情報ありません